

施策コード	6-2
-------	-----

中心所管課	協働まちづくり課
関連所管課	

第6章	市民とともに歩むまちづくり -地域・行財政-							
基本施策名	2 市民協働							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
行政との協働事業数	事業	39	27	34	45	50		
がまごおり市民まちづくりセンター登録団体数	団体	125	126	129	130	135		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 新たな担い手づくり	まちづくり事業助成金としてチャレンジ助成金を新設し、まちづくり活動への参画意識を高めるとともに、将来の地域の担い手育成を図った。 中堅職員を対象とした協働まちづくり研修を実施し、SDGsゲームを通して協働の理解を深めた。	まちづくり事業助成金の制度見直しを検討し、利用事業を増やしていく。 助成金事業の実績報告会等により、活動の周知や意見交換の機会を作っていく。
2 市民、市民活動団体、事業者と行政の連携強化	がまごおり地域猫活動協働モデル事業では、地域・市民活動団体・行政の役割分担を検討し、マニュアル作成等を行った。 蒲郡若者議会活動協働モデル事業では、市民活動団体を主体とし行政と連携した若者議会を実施した。	地域や市民活動団体、事業者等と連携し、地域課題の解決を図る協働モデル事業に取り組んでいく。
3 市民参画の推進	市民企画公募まちづくり事業助成金は2団体、まちづくり活動チャレンジ助成金は4団体が利用し、まちづくり事業を実施した。 R4.10にまちづくりへの多様な主体の参画を目指した協働まちづくり指針が策定された。	市民まちづくりセンターを中心として、協働まちづくり指針の推進を図っていく。
4 持続可能な活動への支援	1団体にまちづくり賞の表彰を行い、継続されている活動への敬意を表するとともに、活動の周知を図った。	団体の事業継承等、事業継続における支援について、市民まちづくりセンターと連携し検討していく。

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
2	協働まちづくりモデル事業	330	1,000	がまごおり地域猫活動(地域、団体、行政)	地域における多文化共生推進を図る事業を実施していく。
		0.2			
2	協働まちづくり若者支援モデル事業	1,088	1,000	愛知工科大学映像制作・感性工学・福祉と工学の実践プロジェクト(団体、事業者、大学) 蒲郡若者議会活動(団体、行政)	大学との連携事業、蒲郡若者議会活動を継続実施する。
		0.2			
3	市民企画公募まちづくり事業助成金	545	3,200	市民企画公募:中央ファーム、鹿島なかよし会 チャレンジ:がまふおと実行委員会、蒲郡若者議会観光委員会、蒲郡若者議会産業委員会、蒲郡若者議会環境委員会	利用事業を増やすため、助成金制度の見直しを検討していく。
		0.2			

総括評価	成果	市民活動団体を主体とした蒲郡若者議会活動や愛知工科大学との協働モデル事業、チャレンジ助成金の新設により、若者が参画したまちづくり活動につながっている。
	課題	協働まちづくり指針策定ワーキングでは、市民活動の情報発信や多様な人の参画に対する課題が多く挙げられ、具体的な検討を進めていく必要がある。
	今後の方向	市民まちづくりセンターを中心とした指針推進体制を整備し、計画的に指針の推進を図っていく。